



高校生に向け、今できる投資の目的などを話した
金融教育特別授業。御嵩町伏見、東濃実業高校

投資の目的や意義学ぶ

東濃実高でJA招き金融授業

めぐみの農業協同組合（JAめぐみの）、県信用農業協同組合連合会（JA岐阜信連）は30日、御嵩町伏見の東濃実業高校でビジネス情報科2年生16人を対象に、金融教育特別授業を行い、長期的に収入を増やすことにつながる投資の目的や意義を講義した。

特別授業では、投資運用などを行う農林中金バリューストメンツ執行役員の長原正樹さんが「投資で変える私の未来」をテーマに、高校生に向けて投資の目的などを話した。

本題に入る前に、交流サイト（SNS）で安易に誘

われて給付金詐欺などに20代以下の若者が関わっている事例を挙げ「短期間で楽してもらうことは絶対にならない」と注意を促した。

投資については「自己投資も金融投資も何をして感謝され、強みは何か、将来はどんなっているかをポイントとしている点は同じ。高校生の最大の資産は時

間」と助言した。

特別授業を聞いた佐倉隼

人君(17)は「将来の自分のために時間を大切に使うって成長できるよう、自己投資をしたい」と話した。

(小森孝美)